



■守谷慶友病院  
〒302-0118 茨城県守谷市立沢 980-1  
TEL:0297-45-3311 FAX:0297-45-4541



■ひがしクリニック慶友  
〒302-0108 茨城県守谷市松並 1630-1  
TEL:0297-48-6001 FAX:0297-45-3450



■伊奈クリニック  
〒300-2307 茨城県つくばみらい市板橋 2243-1  
TEL:0297-20-7755 FAX:0297-58-5507

## 病院概要

### ■病床数

178床  
(一般病床 74床 / 地域包括ケア病床 46床 / 障害者病床 58床)

### ■併設施設

つくば血管センター・パージャー病研究所・つくし保育園  
人工透析 40床

### ■設置医療機器

クラス 1000 手術室、脳外科手術用顕微鏡、鏡視下手術機器（外科、呼吸器外科手術）、泌尿器科手術用レーザー（尿路系結石破碎、前立腺切除）、ELVeS レーザー 1470（下肢静脈瘤治療）、MRI、CT、CTガイドデバイスTARG（ラジオ波）、マンモグラフィ、マンモトーム、ESWL（体外衝撃波結石破碎装置）等

### ■診療科目

【守谷慶友病院】  
総合診療科・内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科  
糖尿病内科・神経内科・外科・脳神経外科・血管外科・乳腺外科  
泌尿器科・呼吸器外科・禁煙外来・肛門外科

### 【ひがしクリニック慶友】

総合診療科・糖尿病内科・泌尿器科

### 【伊奈クリニック】

内科・小児科

## 関連施設

施設名	住所	電話番号
介護老人保健施設 ダ・ジャーレモリヤ	守谷慶友病院内	TEL : 0297-20-6616
居宅介護支援事業所 サンタ	ひがしクリニック慶友内	TEL : 0297-46-0404
在宅介護支援センター わたぼうし	ひがしクリニック慶友内	TEL : 0297-46-2002
看護ステーション たんぼぼ	ひがしクリニック慶友内	TEL : 0297-45-3540
訪問介護事業所 コスモス	ひがしクリニック慶友内	TEL : 0297-45-8222
通所リハビリテーション ダ・ジャーレモリヤ	ひがしクリニック慶友内	TEL : 0297-45-7733
短期入所療養介護 ダ・ヴィンチ	ひがしクリニック慶友内	TEL : 0297-48-6002
健康増進施設 K-FIT.	ひがしクリニック慶友内	TEL : 0297-21-9277
通所介護事業所 ビイ・ディ・ジェイ伊奈	伊奈クリニック内	TEL : 0297-20-7272
居宅介護支援事業所 ビイ・ディ・ジェイ伊奈	伊奈クリニック内	TEL : 0297-47-6078
サービス付き高齢者向け住宅 はうすステーション ゆめみの	〒302-0033 取手市米ノ井 165-1	TEL : 0297-86-6070
居宅介護支援事業所 ゆめみの	はうすステーションゆめみの内	TEL : 0297-86-6073



れんこんの里 土浦



見渡す限りのれんこん畑である。土浦駅から新装した土浦協同病院へ向かう途中でお目にかかる。「れんこんの里拓く」の石碑が立っている。遠く筑波山を望み、霞ヶ浦はすぐ近くである。日本一の生産量を誇るれんこんは、そう簡単には達成できなかった。小生の住む東京のすみの方でも、あっちこちにれんこん畑があった。近くでも蓮根とか蓮田という地名がある。きっとその地方のほどほどの需要を補う程度のれんこん畑があったのだろう。

蓮（はず）の花は「れんこん」より有名である。形が心臓に似ていることから「解体新書」でも話題になっている。通常赤いのが観賞用の蓮の花である。ところが、食用れんこんの花は白である。梅は白い梅からとる、と同じ原理かと思われる。赤い花の「れんこん」は旨くないという。ここでは、花よりれんこんである。野田元首相が蓮舫党首に乞われて幹事長となったとき、「私は、蓮の花を支えるれんこんになる」と真顔で語った。

(絵・文 岩井 武尚)  
(挿絵 小笠原 祐子)



## 足を守るために

フットケア指導士 石原彰子



最近サルコペニアという言葉を目にするようになってきました。サルコペニアとは加齢に伴う筋力の減少、または老化に伴う筋肉量の減少を指します。高齢者は簡単にこの様な状況に陥りやすいのです。そしてそれは生命予後を大きく揺るがすことにもつながります。

私が透析室に勤務して10年以上経ちましたが、入職当時に介助が必要な車いす使用の患者さん達は、残念ながら5年未満でお亡くなりになっています。皆さんが足の疾患が原因と言うわけではありませんが、脚を使えなくなっている状況との因果関係を感じていました。このような出来事からも、足の力や状態を維持・改善する必要性を強く意識しました。

フットケアとは、歩行障害になる原因を早期に発見し、適切な治療・処置を行うことで足の健康を維持していく一連のケアを言います。人は些細なことがきっかけで歩行困難に陥ることもあります。私達フットケア指導士は、足の異常を見逃さないよう、すべてのスタッフに啓蒙していくことも心がけています。やがては院外の皆様とも協力し合える体制が出来ていくことが理想だと考えています。

日々行うフットチェックは、ケアを実施した記録を専用書式に記載します。記録には写真も掲載しますが、撮り方についてもスタッフ全員で統一するようにしています。さらに当院独自のフローシートを活用し、下肢末梢動脈疾患の早期発見に努めております。

「なんでもなければそれでよし」をモットーに、些細な事でも見逃さず、相談し合える環境を目指して日々透析患者さんの足を守るために奮闘しています。

少しでも足に不安を抱えるような患者さんがいましたら、当院にご相談ください。血管外科と連携しながら対応したいと思います。

毎月、全透析患者さんや入院患者さんのフットケアを行うのは容易ではありません。末梢動脈疾患管理加算が始まり、業務を見直した結果、臨床工学技士さんの理解協力を得ることが出来ました。可能な業務を分担することが出来たことで、毎日フットケア担当の看護師を配置することが出来るようになりました。現在の守谷慶友病院は、透析スタッフがチームとなって患者さんの足を守っています。



## 下肢救済にむけてのリハビリテーション科の関わり Vol.1

リハビリテーション科主任 理学療法士 宇津野 勝



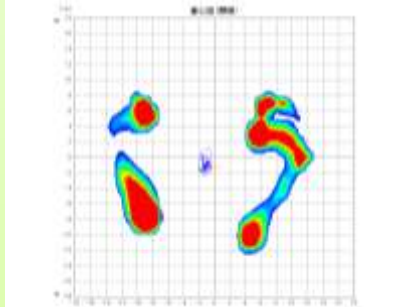
血管外科での手術後で、足部の創傷治癒に向けてリハビリテーション科が関わらせて頂いている内容の一部を紹介させていただきます。

足の創傷治癒にリハビリが関わっていると聞くと、皆さんは違和感を覚えるかもしれませんね。リハビリといえば筋力トレーニングを行って、歩行練習などを行うものというイメージが強いと思います。実は私達理学療法士は、歩行の際に足部のどの位置に体重がかかっているか、どの部分で蹴りだす力がかかっているか、足部のどこに負担がかかるか、などを歩行練習の際に判断しており、どのような歩き方をすれば負担を軽減できるかという事を考え治療に携わっています。筋力トレーニングや関節の可動範囲を広げるような練習を行う事で負担を軽減することと並行し、体重のかかり方を分散させることや、本来の力がかかるべき位置で蹴りだせるような調整を靴の中敷きや靴自体を工夫することで行います。これを装具療法といいます。

こちらは足圧分布計という機械を使用し、実際に足部のどの位置に圧力（体重）がかかっているかを測定している場面です。圧力の強い部分が赤くあらわれ、弱くなるにつれ濃い青色までグラデーションされます。白く抜けている部分は圧力がかかっていない部分になります。このデータでは、左足のかかと部分に広く圧力がかかり、指の付け根では親指のみに体重が強くかかっていることがわかります。この機械を使用することで、患者さんごとの特徴に合わせた装具の作成が可能となります。



測定の様子



測定結果

次号ではフットウェアについてご紹介します。

## 部門紹介 ～検査科～

検査科は、臨床検査技師9名、受付助手1名のスタッフが在籍しています。生理機能検査や検体検査など検査全般を行っており、技師全員が全ての業務を行えるよう日々仕事に励んでいます。

検体検査では、採血後1時間以内に検査報告できる体制を整えています。この診察前検査の実施により、患者さんの再来院の負担を軽減し、迅速な診断・治療の手助けをしています。また、内部精度管理や外部精度管理に積極的に取り組むことで正確な検査結果の報告に努めています。

生理機能検査では、心電図、超音波（腹部、乳腺、甲状腺、心臓、頸動脈など）、脳波、皮膚灌流圧測定（SPP）や睡眠時無呼吸などの検査を行っています。健診で行う乳腺エコーは女性技師が担当し、好評を得ています。患者さんに安心して医療を受けて頂けるよう、また、少しでもお役に立てるようにスタッフ一同努力していきたいと思えます。検査に関する質問などありましたら、お気軽にお声掛け下さい。



## 新任医師紹介

新しい先生が勤務することになりました。どうぞよろしくお願い致します。



### 池田 幸穂 先生

診療科：脳神経外科

経歴・認定医：昭和52年 日本医科大学卒業

日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会指導医

日本救急医学会専門医

得意な症例：脳神経外科一般

一言：脳神経外科全般にわたって、誠意をもって外来診療に当たりたいと思えます。



### 櫻澤 健一 先生

診療科：血管外科

経歴・認定医：平成28年4月迄 九段坂病院 外科部長

日本血管外科学会評議員、日本静脈瘤学会評議員、脈管学会評議員、

日本消化器外科学会指導医

得意な症例：下肢静脈瘤 深部静脈血栓症

一言：当面は月曜（午前午後）と金曜（午後）の外来を担当しておりますが、今後手術など範囲を広げてお手伝い出来ればと思えます。

血管に異常が見つからなくても症状緩和に漢方が効くこともあります。お気軽にご相談ください。

### 佐渡 敬 先生

診療科：健康診断、人間ドック 担当医

経歴・認定医：平成7年 北海道大学医学部卒業

日本内科学会認定内科医、日本人間ドック学会認定医、人間ドック健診情報管理指導士、

日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、検診マンモグラフィ読影認定医、

胃がんX線健診読影部門B資格、日本旅行医学会認定医

得意な症例：自分の健康に興味を持っている全ての受診者

（不得意な症例：会社から言われ嫌々やってくる受診者）

一言：「何で昨年の結果を放っておいたの（怒）」のかわりに「とりあえず1年間無事に過ごせたのね（笑）」と試してみる、なんてことも時にはいいかもしれないと思いながら日々錯誤と研鑽を繰り返しています。まだまだこの分野において未熟者の自分ですが、厳しくも温かい見守りと助言を頂けると幸いです。

